

救急救助統計

～令和5年～



車両更新された救急3号車【車両寄贈先：アステラス製薬株式会社】



延岡市消防本部

目 次

I 救 急 編

第1章 令和5年の救急活動概要(救急出場件数と搬送人員)	1
第2章 令和5年の救急活動状況	4
1 事故種別の救急出場件数及び搬送人員	4
(1) 事故種別の救急出場件数及び搬送人員	4
(2) 事故種別の出場件数の推移	5
(3) 事故種別の傷病程度別搬送人員	6
(4) 事故種別(急病)の疾病分類別の年齢区分と傷病程度	7
① 急病における疾病分類別の年齢区分別搬送人員	7
② 急病における疾病分類別の傷病程度別搬送人員	8
2 年齢区分別の搬送人員	9
(1) 年齢区分別の搬送人員(対前年比)	9
(2) 年齢区分別の傷病程度別搬送人員	9
(3) 年齢区分別の事故種別搬送人員	10
(4) 高齢者(満65歳以上の者)の搬送状況	10
3 傷病程度別の搬送人員	11
(1) 傷病程度別の事故種別搬送人員	11
(2) 傷病程度別の年齢区分別搬送人員	11
4 地区別の救急出場件数及び搬送人員	12
(1) 地区別の事故種別出場件数	12
(2) 地区別の傷病程度別搬送人員	13
(3) 地区別の救急出場件数	13
5 月別・曜日別、時刻別の救急出場件数及び搬送人員	14
(1) 月別・曜日別の救急出場件数	14
(2) 時間帯別の事故種別救急出場件数	15
(3) 休日夜間活動状況	16
6 救急活動の内容	17
(1) 救急隊員の行った応急処置	17
7 応急手当の普及啓発	18
(1) 応急手当講習の実施状況	18
(2) 救急蘇生統計	18

8 医療機関等への搬送状況	19
(1) 医療機関別搬送状況	19
(2) 診療科別搬送人員	19
(3) 病院別搬送人員	20
(4) 不搬送の原因別出場状況	21
(5) 病院問合せ平均回数	21
(6) 救急支援(PA連携)出場状況	21
(7) ドクターヘリ活動状況	22
(8) ドクターカー活動状況	23

Ⅱ 救 助 編

第3章 令和5年の救助活動概要	24
第4章 令和5年の救助活動状況	24
1 事故種別ごとの救助出場件数及び救助人員	24
2 月別の救助出場件数	25
3 曜日別の救助出場件数	25
4 地区別の事故種別救助出場件数	26
5 年齢別の要救助者数	26

第1章 令和5年の救急活動概要

令和5年中の救急活動状況は、出場件数は6,675件、搬送人員5,491人でした。平均すると、1日約18件の出場、約15人の搬送となりました。

出場件数は27件の減少となったものの、過去最高件数となった昨年と同水準での推移となりました。搬送人員は141人の減少となっており、不搬送件数の増加が見られました。搬送人員のうち、65歳以上の高齢者の搬送人員は3,913人となり、全体の71%を占めています。

このような現状の中、救急隊が傷病者を病院搬送するまでの間に心肺停止状態となった症例104名の内、6名が社会復帰をされています。このうち、5名はバイスタンダーによる胸骨圧迫が適切に行われており、バイスタンダーCPRが功を奏した症例でした。

そのため、消防本部では119番通報時に目撃のある心肺停止傷病者、重症傷病者に対し、早期の胸骨圧迫や除細動(AED)などの口頭指導を実施しております。また、一般市民に対して救命講習を開催しており、令和5年は、救命講習を152回・2,819人に実施しました。

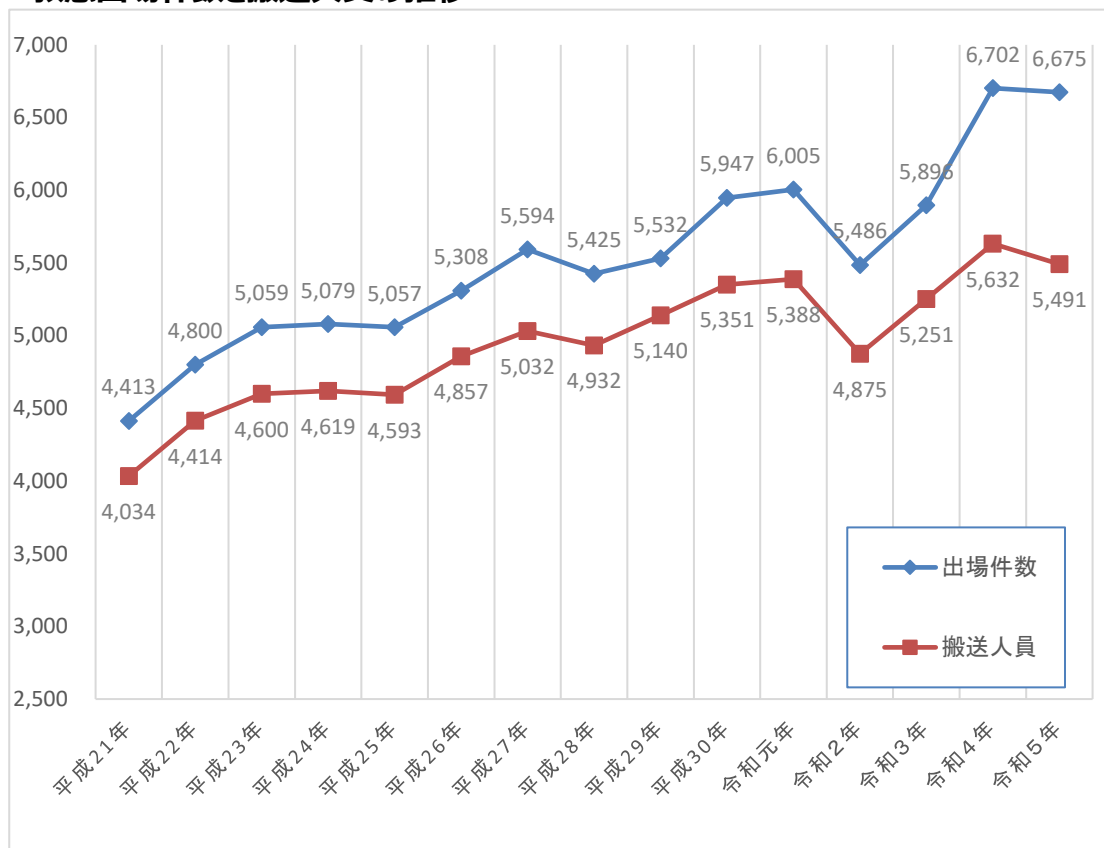
重症事案や高層階事案など救急隊のみでは活動困難な場合に、救急車と共に消防車等が出場するPA連携は、860件(令和4年 844件)と16件増加しており、特にCPA案件のPA連携は418件の出場となっています。直近の消防隊が、いち早く傷病者へ接触して観察を行い、適切な応急処置による救命率の向上など、より良い市民サービスを提供することができます。また、救急現場のマンパワー充実により、これまで以上に安全かつ確実な活動が可能となり、より早く医療機関へ搬送することができます。

令和5年の延岡市管轄内における宮崎県立延岡病院の救急車型ドクターカーの要請件数は122件、出場件数は114件となっています。ドクターカーは、医師の搭乗の他、高度な医療資器材を積載しており、早期の医療介入が可能となり、検査治療を行いながら病院へ搬送することができます。傷病者の救命、そして社会復帰を目指した活動のため、医療機関と連携しながら活動を実施しています。

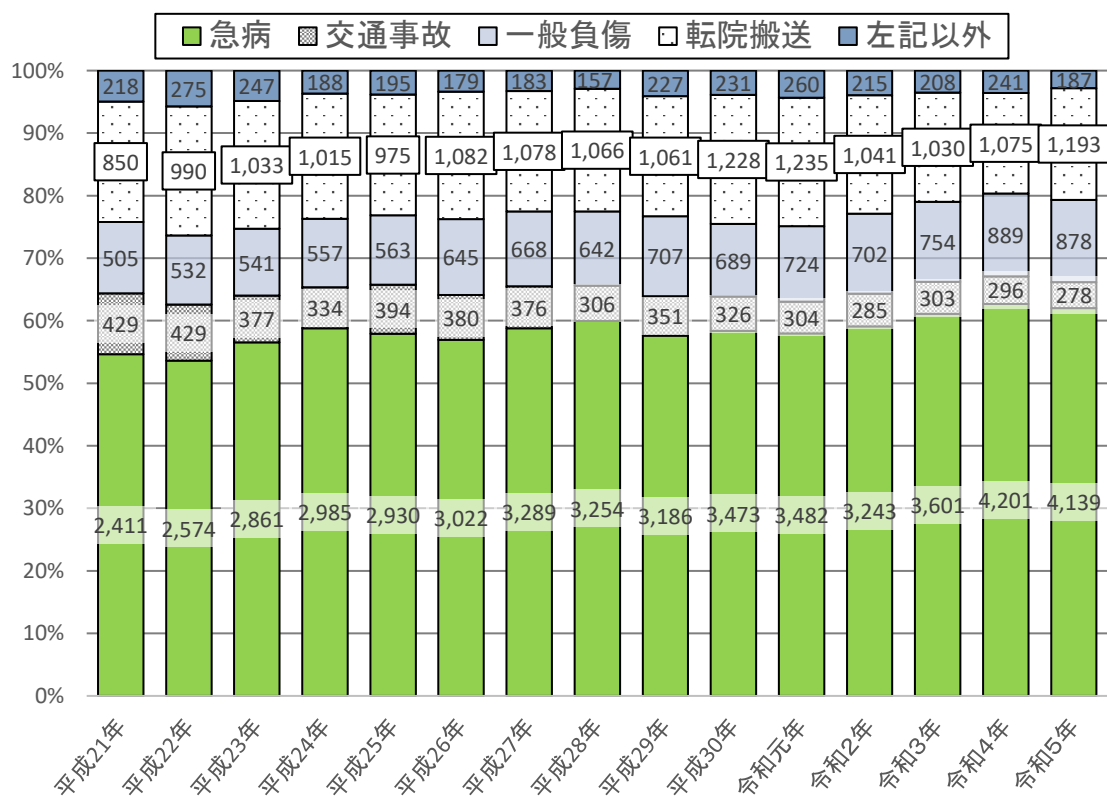
令和5年の救急出場件数と搬送人員

		出 場 件 数			搬 送 人 員		
		令和5年	令和4年	増減数	令和5年	令和4年	増減数
火	災	24	37	▲ 13	4	11	▲ 7
自 然	災 害	2	5	▲ 3	1	2	▲ 1
水 難	事 故	2	7	▲ 5	0	0	0
交 通	事 故	278	296	▲ 18	241	249	▲ 8
労 働	災 害	44	51	▲ 7	38	48	▲ 10
運 動	競 技	34	31	3	31	31	0
一 般	負 傷	878	889	▲ 11	737	766	▲ 29
加	害	8	16	▲ 8	6	8	▲ 2
自 損	行 為	53	60	▲ 7	35	39	▲ 4
急	病	4,139	4,201	▲ 62	3,207	3,409	▲ 202
そ の 他	転 院 搬 送	1,193	1,075	118	1,187	1,069	118
	医 師 搬 送	0	1	▲ 1	0	0	0
	資 器 材 搬 送	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	20	33	▲ 13	4	0	4
計		6,675	6,702	▲ 27	5,491	5,632	▲ 141

救急出場件数と搬送人員の推移



事故種別の救急出場件数と構成比の推移

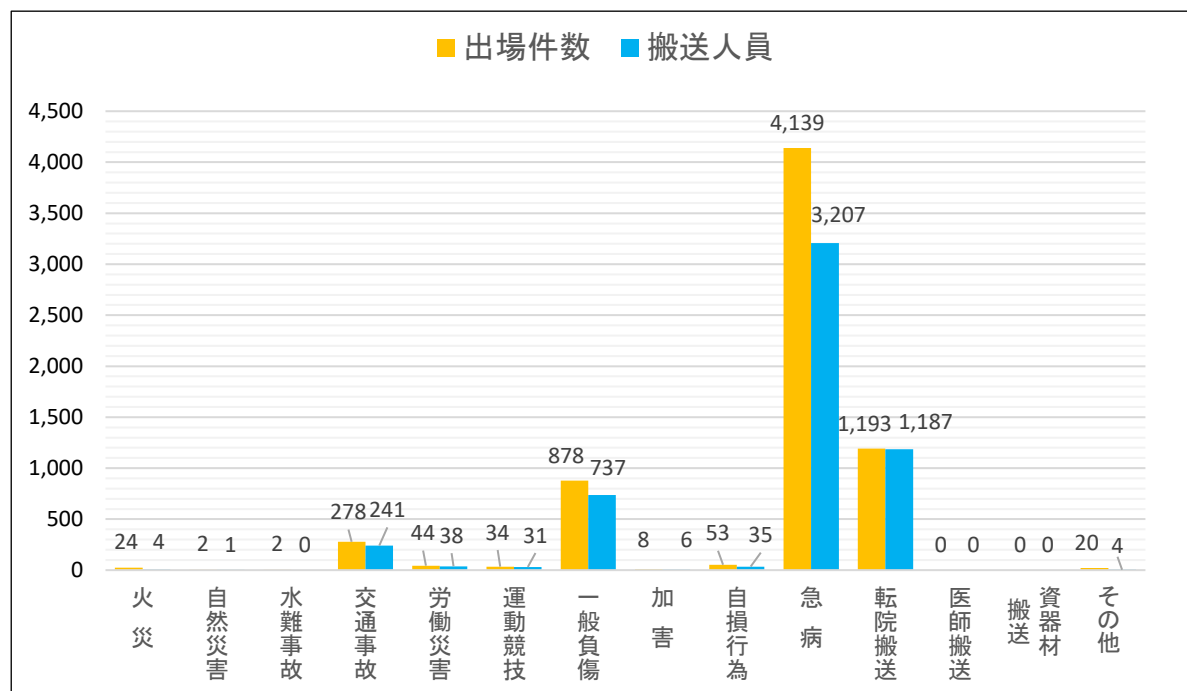


事故種別で見た出場件数では、急病が大半を占め4,139件(全体の62%)となっており、前年の4,201件(63%)より62件減少しています。次いで、転院搬送が1,193件(全体の18%)で、前年より118件増加しました。

また、一般負傷が878件(全体の13%)で、前年より11件の減少、交通事故が278件で18件の減少、労働災害が44件で7件の減少となっています。

市北部を管轄とする延岡北救急隊の出場件数は、1,440件(全体の22%)となり、前年の1,508件から68件減少しました。市南部管轄の延岡南救急隊は、1,621件(全体の24%)となり、前年の1,511件から110件増加しました。

事故種別の救急出場件数と搬送人員



管内における救急出動件数の内訳

	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他	計
出場件数	24	2	2	278	44	34	878	8	53	4,139	1,193	0	0	20	6,675
本署	16	2	1	171	21	18	400	5	24	2,150	794	0	0	12	3,614
北分署	4	0	1	56	13	7	197	0	8	977	174	0	0	3	1,440
南分署	4	0	0	51	10	9	281	3	21	1,012	225	0	0	5	1,621
搬送人員	4	1	0	241	38	31	737	6	35	3,207	1,187	0	0	4	5,491
本署	1	1	0	139	17	16	401	4	16	1,574	791	0	0	3	2,963
北分署	2	0	0	58	12	7	176	0	6	776	173	0	0	0	1,210
南分署	1	0	0	44	9	8	160	2	13	857	223	0	0	1	1,318

第2章 令和5年の救急活動状況

1 事故種別の救急出場件数及び搬送人員

(1) 事故種別の救急出場件数及び搬送人員

事故種別の救急出場件 (対前年比)

(単位：件)

事故種別		令和5年		令和4年		対前年比	
		出場件数	構成比(%)	出場件数	構成比(%)	増減数	構成比(%)
火	災	24	0.4	37	0.6	▲ 13	▲ 35.1
自	然 災 害	2	0.0	5	0.1	▲ 3	▲ 60.0
水	難 事 故	2	0.0	7	0.1	▲ 5	▲ 71.4
交	通 事 故	278	4.2	296	4.4	▲ 18	▲ 6.1
労	働 災 害	44	0.7	51	0.8	▲ 7	▲ 13.7
運	動 競 技	34	0.5	31	0.5	3	9.7
一	般 負 傷	878	13.2	889	13.3	▲ 11	▲ 1.2
加	害	8	0.1	16	0.2	▲ 8	▲ 50.0
自	損 行 為	53	0.8	60	0.9	▲ 7	▲ 11.7
急	病	4,139	62.0	4,201	62.7	▲ 62	▲ 1.5
そ の 他	転 院 搬 送	1,193	17.9	1,075	16.0	118	11.0
	医 師 搬 送	0	0.0	1	0.0	▲ 1	▲ 100.0
	資 器 材 搬 送	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	そ の 他	20	0.3	33	0.5	▲ 13	▲ 39.4
計		6,675	100	6,702	100	▲ 27	▲ 0.40

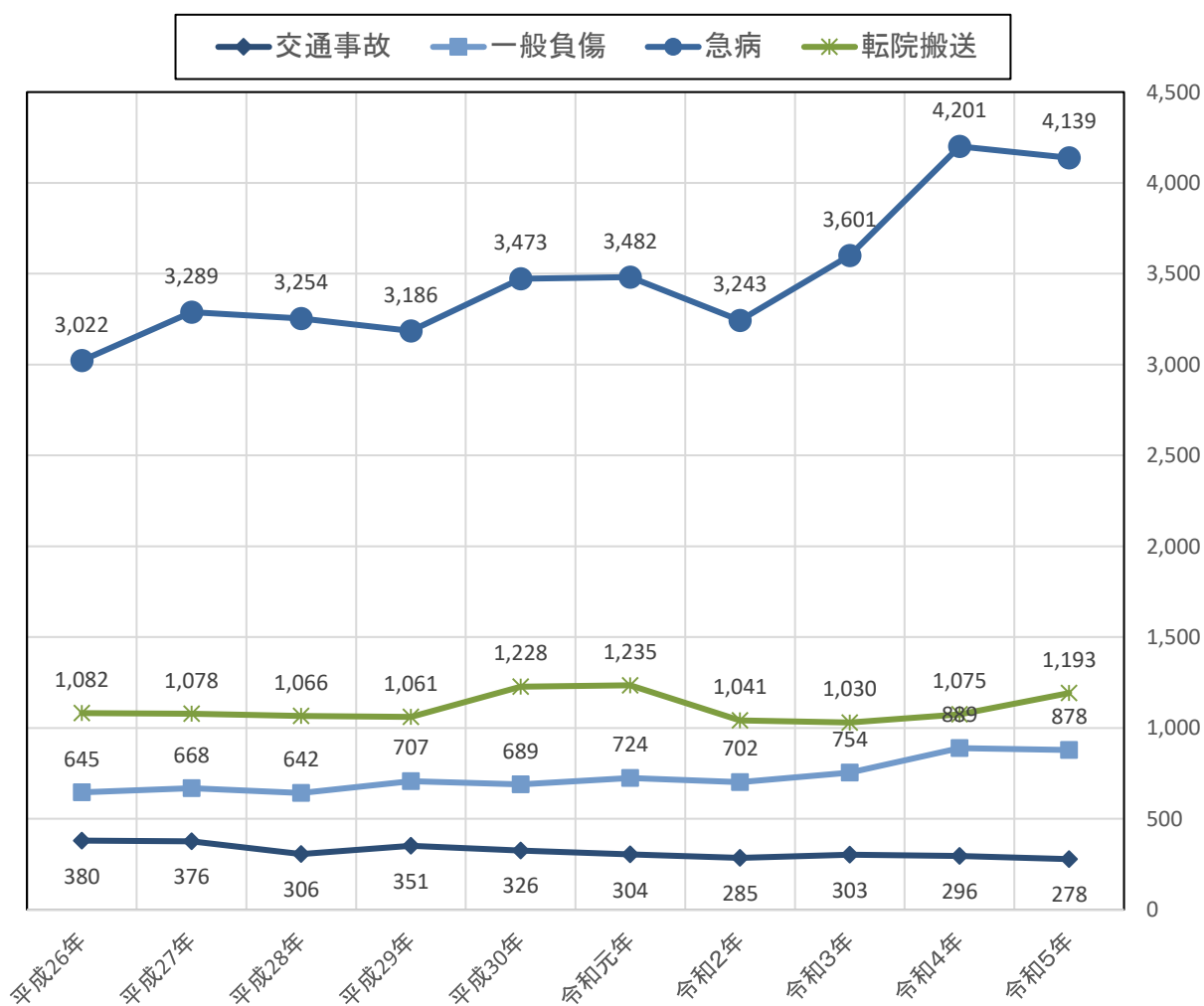
事故種別の搬送人員 (対前年比)

(単位：件)

事故種別		令和5年		令和4年		対前年比	
		搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	構成比(%)
火	災	4	0.1	11	0.2	▲ 7	▲ 63.6
自	然 災 害	1	0.0	2	0.0	▲ 1	▲ 50.0
水	難 事 故	0	0.0	0	0.0	0	0.0
交	通 事 故	241	4.4	249	4.4	▲ 8	▲ 3.2
労	働 災 害	38	0.7	48	0.9	▲ 10	▲ 20.8
運	動 競 技	31	0.6	31	0.6	0	0.0
一	般 負 傷	737	13.4	766	13.6	▲ 29	▲ 3.8
加	害	6	0.1	8	0.1	▲ 2	▲ 25.0
自	損 行 為	35	0.6	39	0.7	▲ 4	▲ 10.3
急	病	3,207	58.4	3,409	60.5	▲ 202	▲ 5.9
そ の 他	転 院 搬 送	1,187	21.6	1,069	19.0	118	11.0
	医 師 搬 送	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	資 器 材 搬 送	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	そ の 他	4	0.1	0	0.0	4	0.0
計		5,491	100	5,632	100	▲ 141	▲ 2.50

(2) 事故種別の出場件数の推移

		出 場 件 数									
		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
出場件数		5,308	5,594	5,425	5,532	5,947	6,005	5,486	5,896	6,702	6,675
火 災		23	24	21	25	25	25	24	19	37	24
自 然 災 害		0	0	2	5	3	5	3	4	5	2
水 難 事 故		3	2	8	3	5	7	4	3	7	2
交 通 事 故		380	376	306	351	326	304	285	303	296	278
労 働 災 害		31	39	22	45	43	39	39	43	51	44
運 動 競 技		33	42	28	45	32	41	29	26	31	34
一 般 負 傷		645	668	642	707	689	724	702	754	889	878
加 害		24	24	19	23	17	12	13	17	16	8
自 損 行 為		41	36	41	46	48	54	42	44	60	53
急 病		3,022	3,289	3,254	3,186	3,473	3,482	3,243	3,601	4,201	4,139
そ の 他	転 院 搬 送	1,082	1,078	1,066	1,061	1,228	1,235	1,041	1,030	1,075	1,193
	医 師 搬 送	0	0	0	0	26	45	47	19	1	0
	資 器 材 搬 送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	24	16	16	35	32	32	14	33	33	20



(3) 事故種別の傷病程度別搬送人員

搬送人員の多い急病、交通事故、一般負傷の傷病程度割合

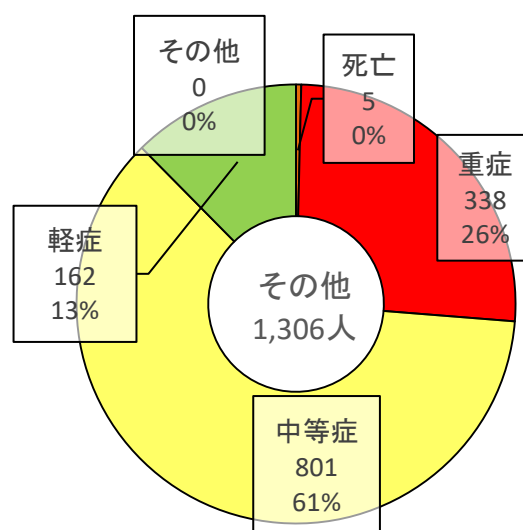
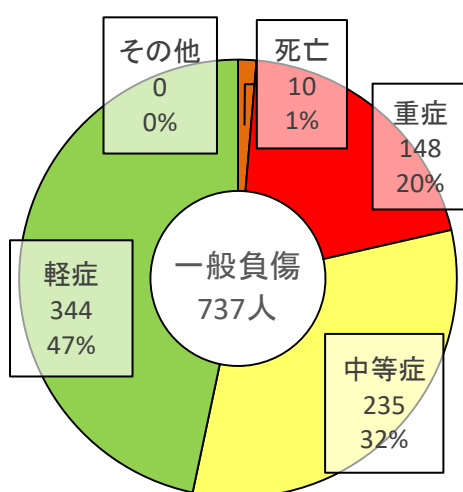
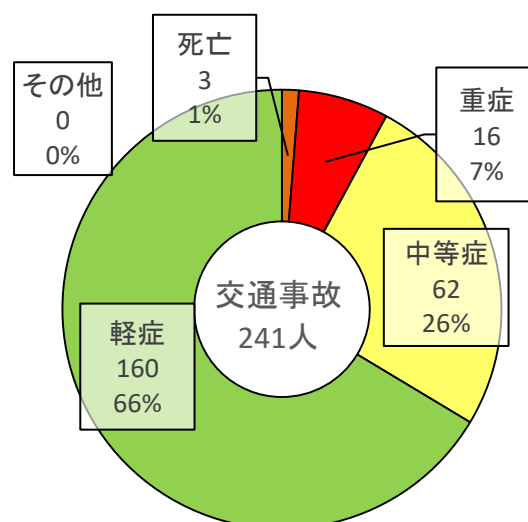
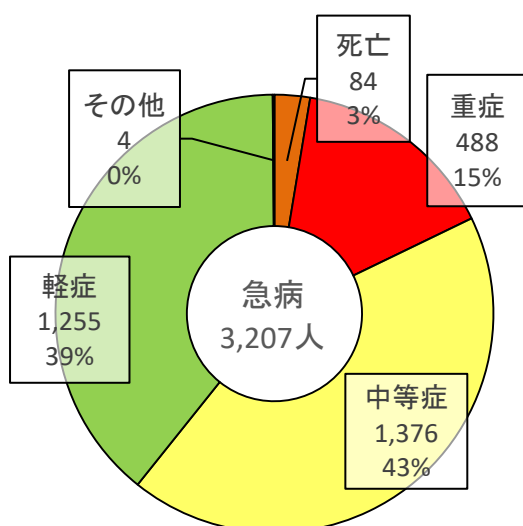
	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	計
急 病	84	488	1,376	1,255	4	3,207
交通事故	3	16	62	160	0	241
一般負傷	10	148	235	344	0	737
そ の 他	5	338	801	162	0	1,306
計	102	990	2,474	1,921	4	5,491

死 亡 : 初診時に死亡が確認された者

重 症 : 3週間以上の入院が必要な者

中等症 : 3週間未満の入院が必要な者

軽 症 : 入院の必要がない者



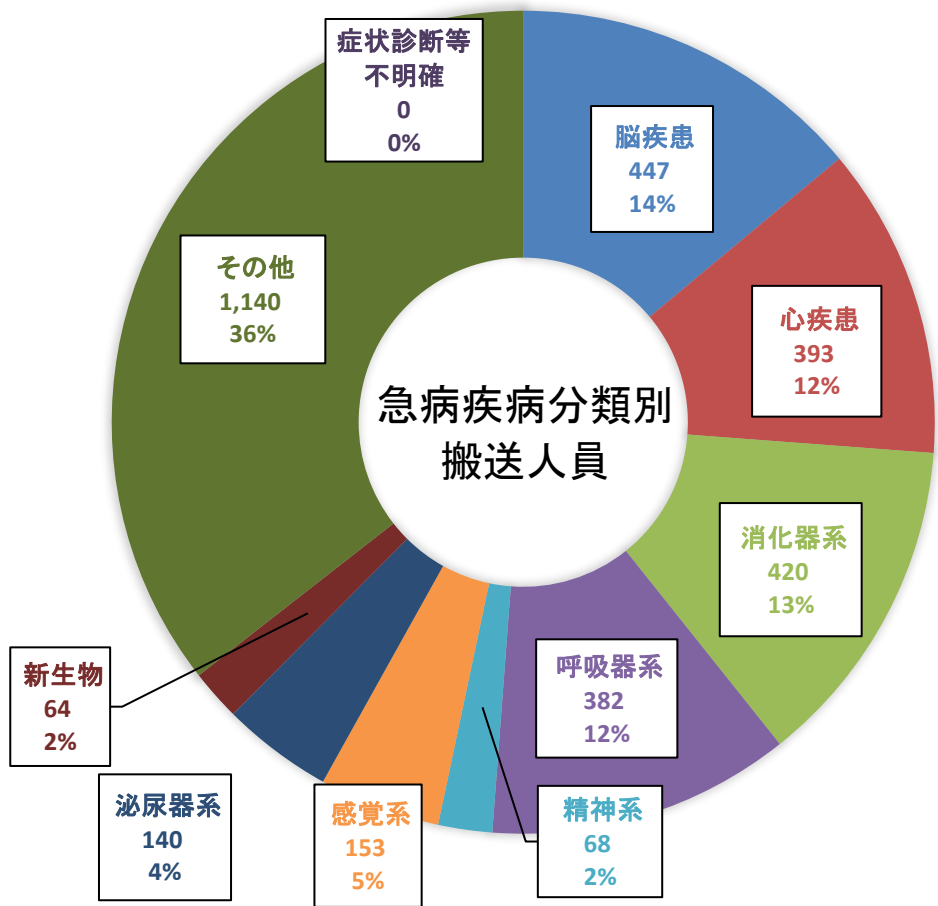
(4) 事故種別（急病）の疾病分類と年齢区分の搬送人員

①急病における疾病分類別の年齢区分別搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計	構成比
脳疾患	0	2	2	74	369	447	13.9%
心疾患	0	0	1	57	335	393	12.3%
消化器系	0	4	7	107	302	420	13.1%
呼吸器系	0	15	12	64	291	382	11.9%
精神系	0	0	4	30	34	68	2.1%
感覚系	0	6	9	50	88	153	4.8%
泌尿器系	0	0	0	54	86	140	4.4%
新生物	0	0	0	9	55	64	2.0%
その他	0	111	30	217	782	1,140	35.5%
症状診断等不明確	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	0	138	65	662	2,342	3,207	100%

※注：年齢区分は、次により分類する。

- (1)新生児：生後28日未満の者
- (2)乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
- (3)少年：満7歳以上満18歳未満の者
- (4)成人：満18歳以上満65歳未満の者
- (5)高齢者：満65歳以上の者

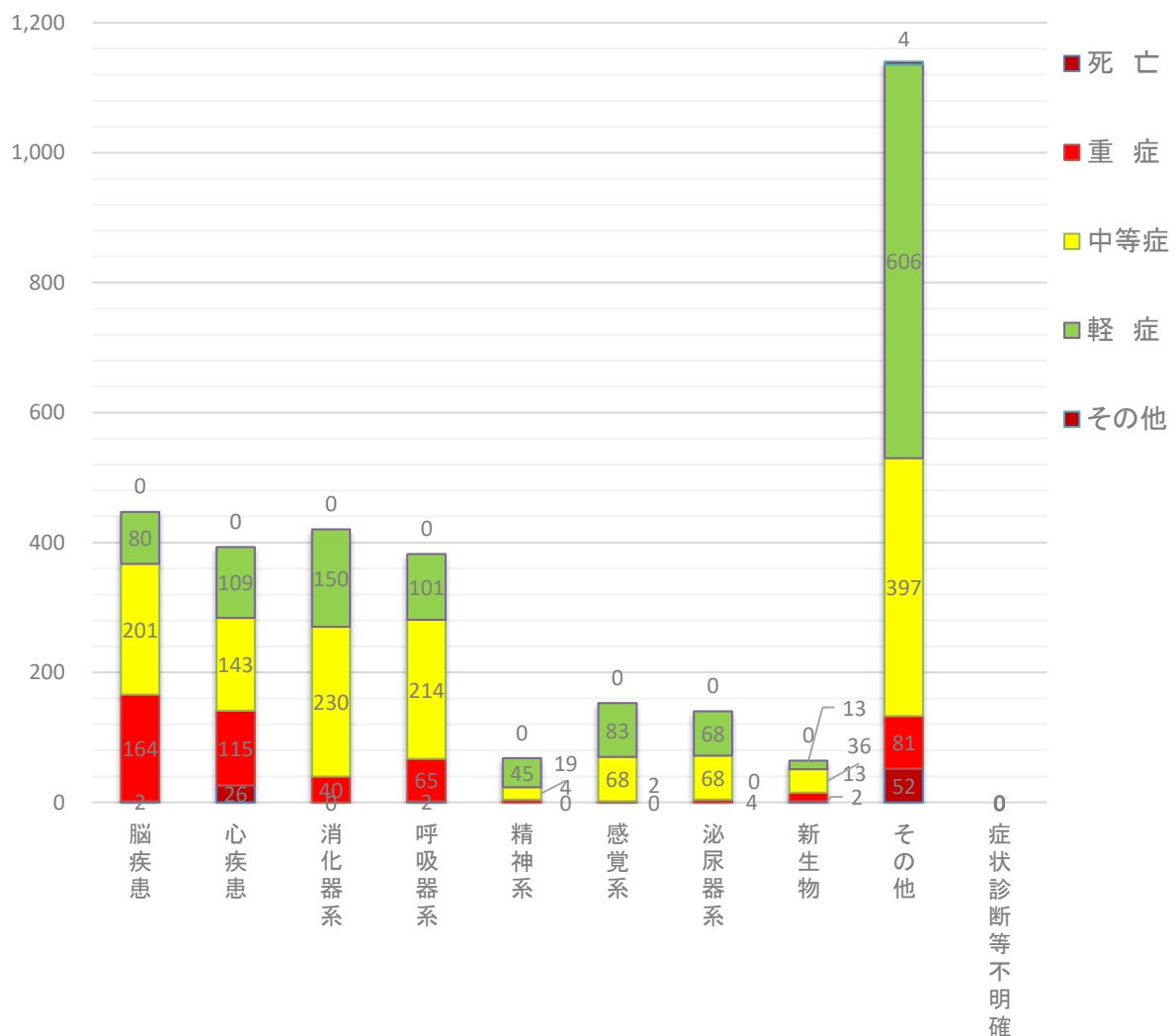


※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため合計が100%にならない場合がある。

② 急病における疾病分類別の傷病程度別搬送人員

	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	計	構成比
脳 疾 患	2	164	201	80	0	447	13.9%
心 疾 患	26	115	143	109	0	393	12.3%
消 化 器 系	0	40	230	150	0	420	13.1%
呼 吸 器 系	2	65	214	101	0	382	11.9%
精 神 系	0	4	19	45	0	68	2.1%
感 覚 系	0	2	68	83	0	153	4.8%
泌 尿 器 系	0	4	68	68	0	140	4.4%
新 生 物	2	13	36	13	0	64	2.0%
そ の 他	52	81	397	606	4	1,140	35.5%
症状診断等不明確	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	84	488	1,376	1,255	4	3,207	

※脳疾患においては、中等症以上の患者の割合が高くなっている。



2 年齢区分別の搬送人員

(1) 年齢区分別の搬送人員（対前年比）

	令和5年		令和4年		対前年比	
	出場件数	構成比(%)	出場件数	構成比(%)	増減数	構成比(%)
新 生 児	21	0.4	25	0.4	▲ 4	▲ 16.0
乳 幼 児	180	3.3	152	2.7	28	18.4
少 年	143	2.6	155	2.8	▲ 12	▲ 7.7
成 人	1,234	22.5	1,309	23.2	▲ 75	▲ 5.7
高 齢 者	3,913	71.3	3,991	70.9	▲ 78	▲ 2.0
計	5,491	100	5,632	100	▲ 141	▲ 2.5

(注) 年齢区分は、次により分類する。

- (1) 新 生 児 : 生後28日未満の者
- (2) 乳 幼 児 : 生後28日以上満7歳未満の者
- (3) 少 年 : 満7歳以上満18歳未満の者
- (4) 成 人 : 満18歳以上満65歳未満の者
- (5) 高 齢 者 : 満65歳以上の者

(2) 年齢区分別の傷病程度別搬送人員

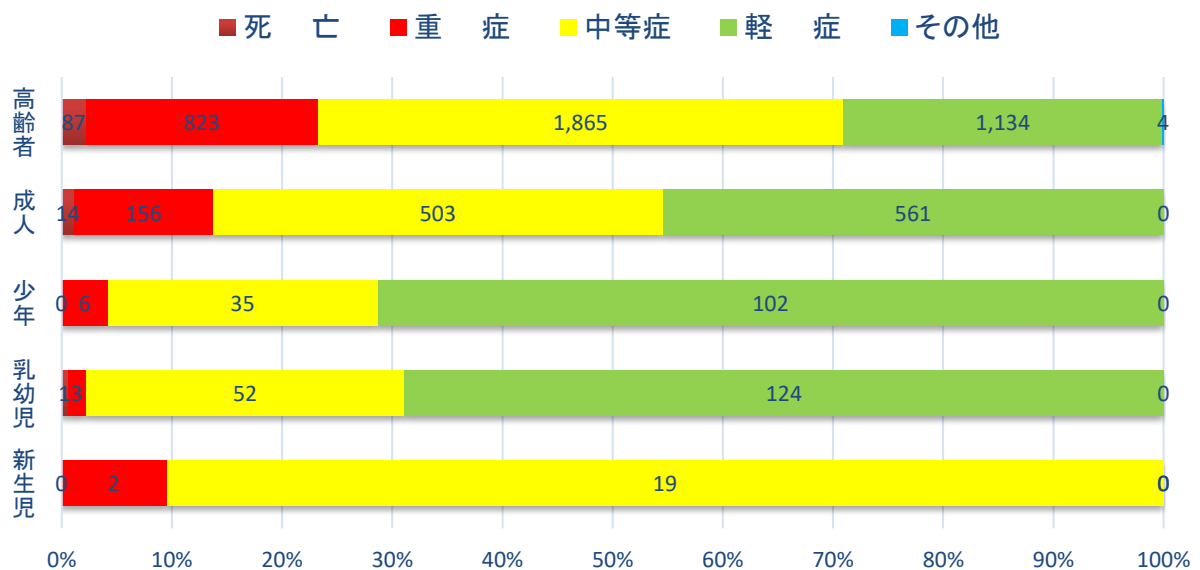
	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	計
新 生 児	0	2	19	0	0	21
乳 幼 児	1	3	52	124	0	180
少 年	0	6	35	102	0	143
成 人	14	156	503	561	0	1,234
高 齢 者	87	823	1,865	1,134	4	3,913
計	102	990	2,474	1,921	4	5,491

死 亡 : 初診時に死亡が確認された者

重 症 : 3週間以上の入院が必要な者

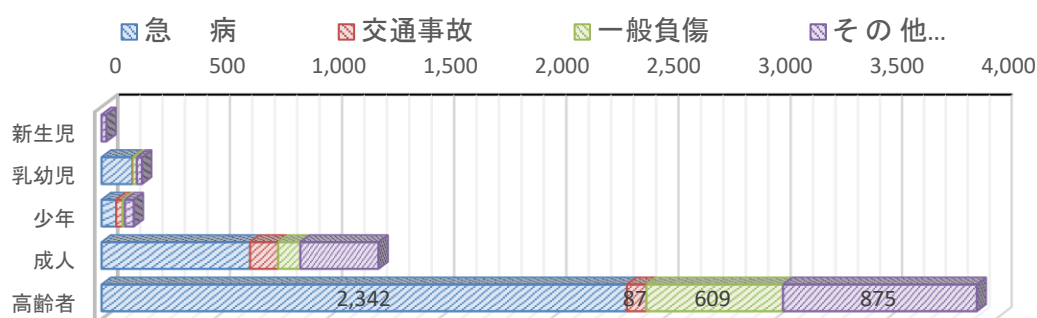
中 等 症 : 3週間未満の入院が必要な者

軽 症 : 入院の必要がない者



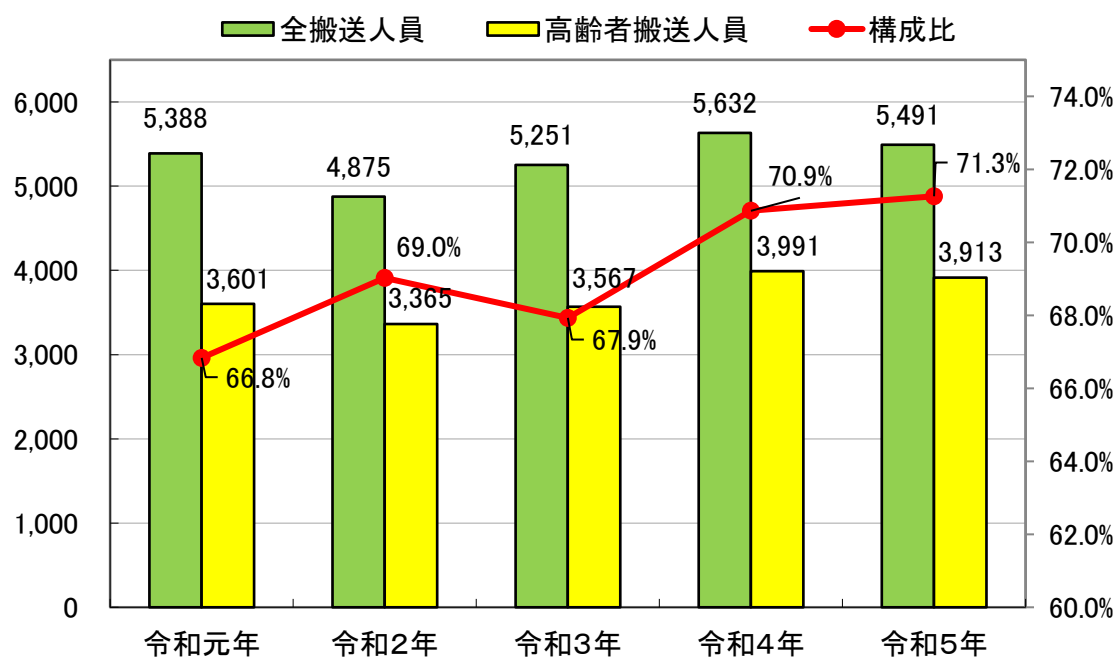
(3) 年齢区分別の事故種別搬送人員

	急 病	交通事故	一般負傷	その 他 (左記以外)	計
新 生 児	0	0	0	21	21
乳 幼 児	138	1	18	23	180
少 年	65	28	11	39	143
成 人	662	125	99	348	1,234
高 齢 者	2,342	87	609	875	3,913
計	3,207	241	737	1,306	5,491



(4) 高齢者（満65歳以上の者）の搬送人員の推移

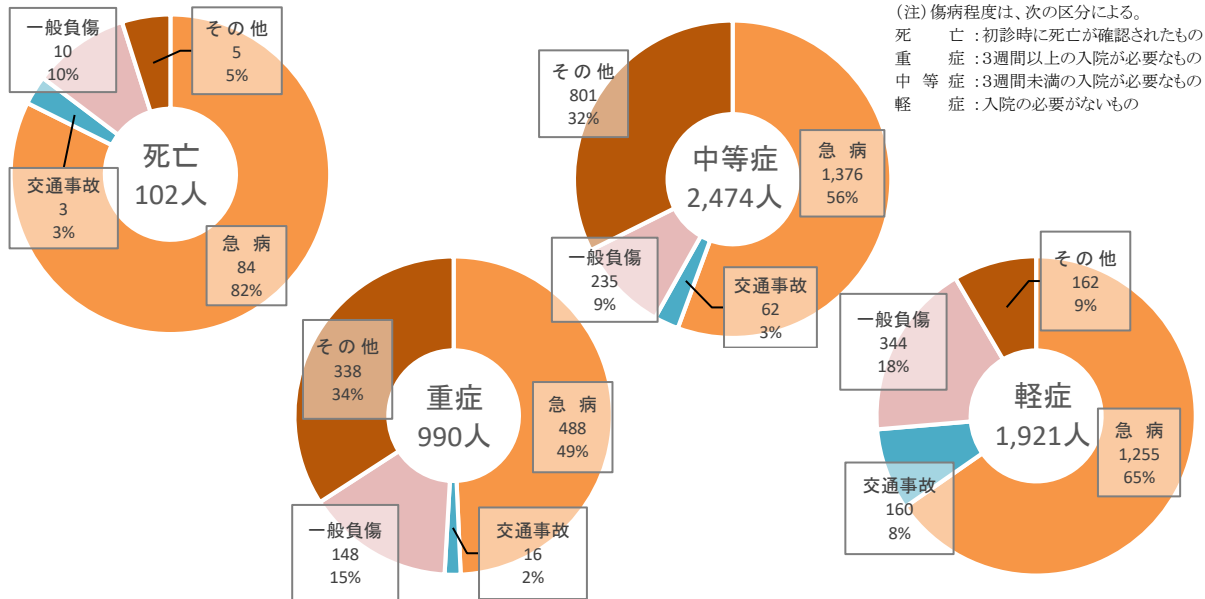
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 搬 送 人 員	5,388	4,875	5,251	5,632	5,491
高齢者搬送人員	3,601	3,365	3,567	3,991	3,913
構 成 比	66.8%	69.0%	67.9%	70.9%	71.3%



3 傷病程度別の搬送人員

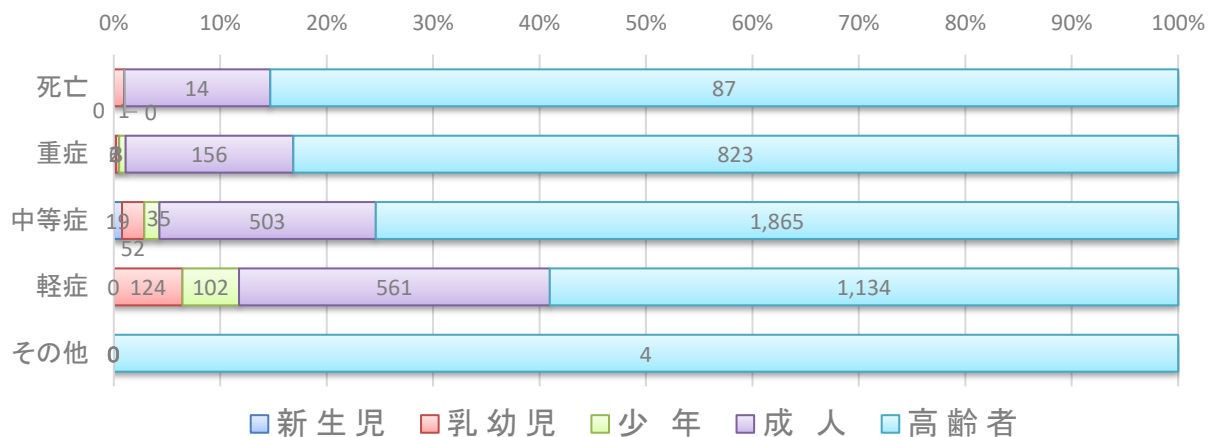
(1) 傷病程度別の事故種別搬送人員

	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	計	構 成 比
死 亡	84	3	10	5	102	1.9%
重 症	488	16	148	338	990	18.0%
中 等 症	1,376	62	235	801	2,474	45.1%
軽 症	1,255	160	344	162	1,921	35.0%
そ の 他	4	0	0	0	4	0.1%
計	3,207	241	737	1,306	5,491	



(2) 傷病程度別の年齢区分別搬送人員

	新生児	乳 幼 児	少 年	成 人	高 齢 者	計	構 成 比
死 亡	0	1	0	14	87	102	1.9%
重 症	2	3	6	156	823	990	18.0%
中 等 症	19	52	35	503	1,865	2,474	45.1%
軽 症	0	124	102	561	1,134	1,921	35.0%
そ の 他	0	0	0	0	4	4	0.1%
計	21	180	143	1,234	3,913	5,491	100%



4 地区別の救急出場件数及び搬送人員

(1) 地区別の事故種別出場件数

		延岡市				自動車 専用道路 (高速道路も含む)	その他	計	
		旧延岡市	北方町	北川町	北浦町				
事故 種別	火災	23	1	0	0	0	0	24	
	自然災害	2	0	0	0	0	0	2	
	水難事故	2	0	0	0	0	0	2	
	交通事故	239	11	6	6	15	1	278	
	労働災害	37	3	1	3	0	0	44	
	運動競技	31	2	1	0	0	0	34	
	一般負傷	791	34	28	25	0	0	878	
	加害	6	1	1	0	0	0	8	
	自損行為	51	0	1	1	0	0	53	
	急病	3,766	145	132	95	1	0	4,139	
	その他	転院搬送	1,165	11	1	16	0	0	1,193
		医師搬送	0	0	0	0	0	0	0
		資器材搬送	0	0	0	0	0	0	0
		その他	19	1	0	0	0	0	20
計		6,132	209	171	146	16	1	6,675	

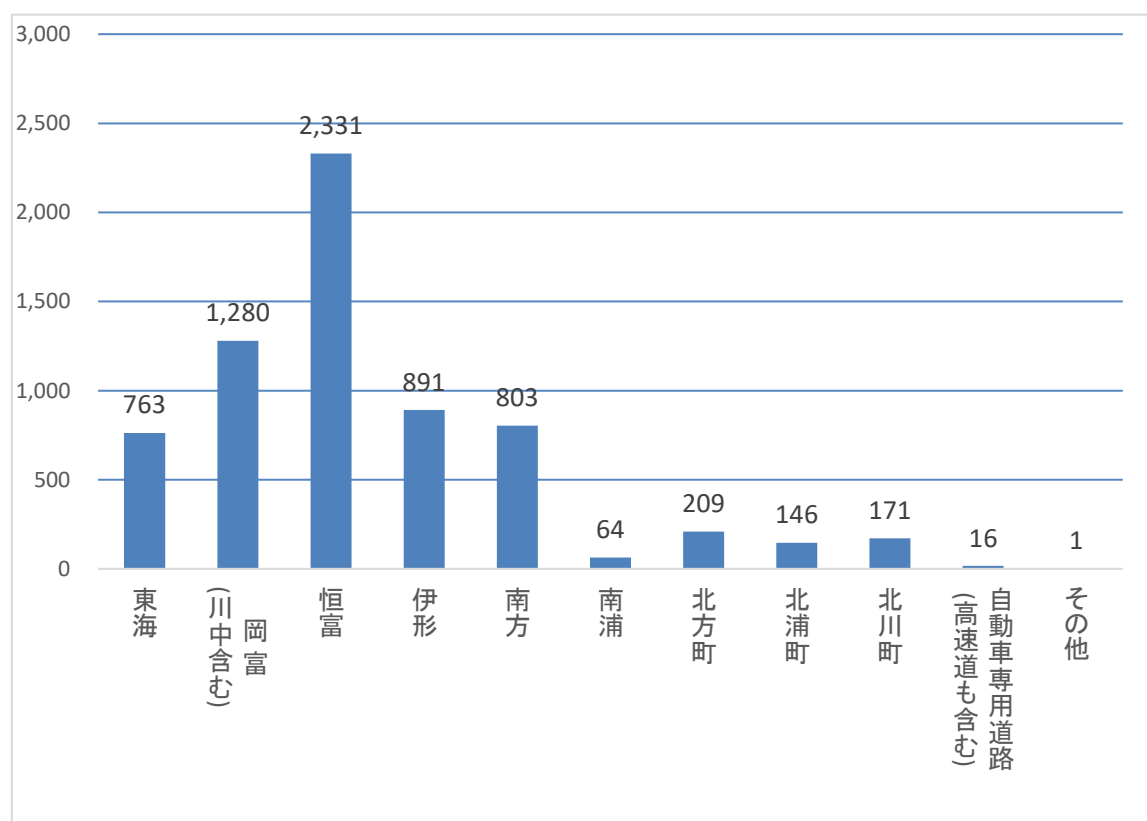
(注) 傷病程度で「その他」は、その他の場所に搬送した者。(主に防災ヘリ搬送となります。)

(2) 地区別の傷病程度別搬送人員

		延岡市				自動車 専用道路 (高速道路も含む)	その他	計
		旧延岡市	北方町	北川町	北浦町			
出場件数		6,132	209	171	146	16	1	6,675
搬送件数		5,023	165	149	133	6	0	5,476
不搬送件数		1,109	44	22	13	10	1	1,199
医師搬送・資機材搬送		0	0	0	0	0	0	0
搬送人員		5,034	166	150	135	6	0	5,491
傷病程度	死亡	85	9	5	3	0	0	102
	重症	897	34	31	27	1	0	990
	中等症	2,298	72	48	55	1	0	2,474
	軽症	1,751	51	66	49	4	0	1,921
	その他	3	0	0	1	0	0	4

(3) 地区別の救急出場件数

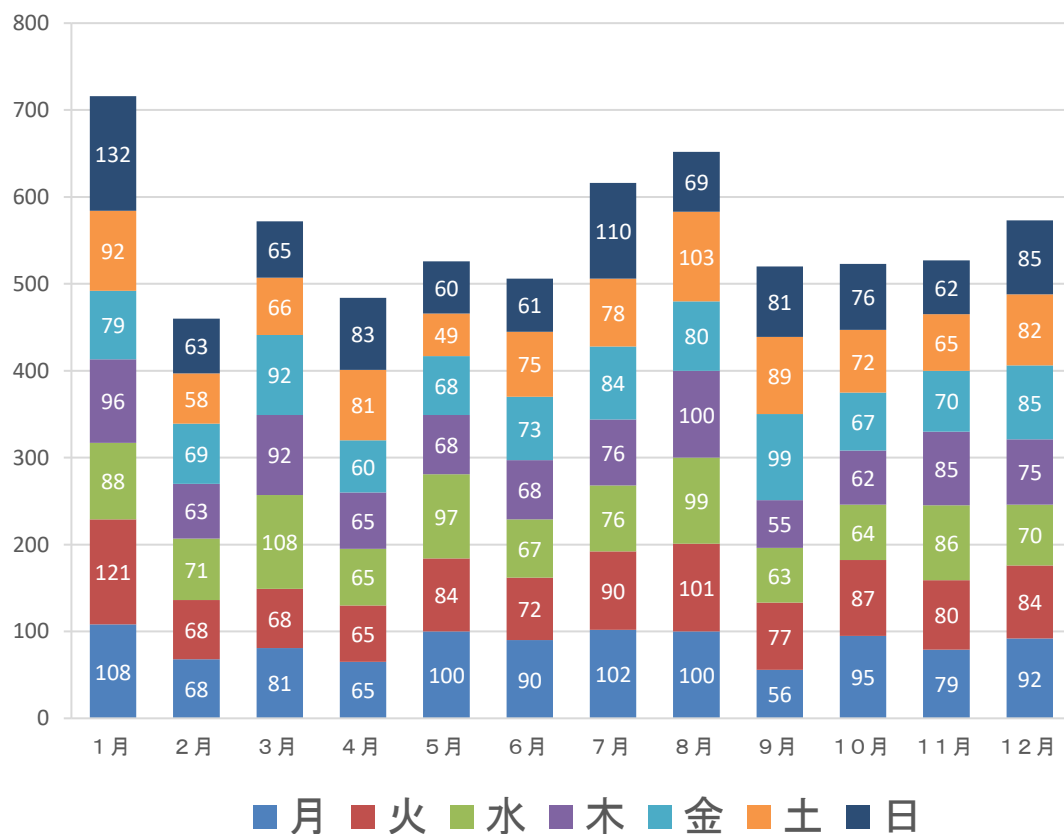
	東海	(川中 岡富 含む)	恒富	伊形	南方	南浦	北方町	北浦町	北川町	(自動車専用道路 も含む) (高速道も含む)	その他	合計
令和5年	763	1,280	2,331	891	803	64	209	146	171	16	1	6,675
	11.4%	19.2%	34.9%	13.3%	12.0%	1.0%	3.1%	2.2%	2.6%	0.2%	0.0%	100.0%
令和4年	780	1,265	2,214	890	865	65	193	208	205	17	0	6,702
	11.6%	18.9%	33.0%	13.3%	12.9%	1.0%	2.9%	3.1%	3.1%	0.3%	0.0%	100%
令和3年	659	1,104	2,011	809	750	55	149	162	184	13	0	5,896
	11.2%	18.7%	34.1%	13.7%	12.7%	0.9%	2.5%	2.7%	3.1%	0.2%	0.0%	100%
令和2年	580	1,067	1,920	703	664	58	174	149	162	9	0	5,486
	10.6%	19.4%	35.0%	12.8%	12.1%	1.1%	3.2%	2.7%	3.0%	0.2%	0.0%	100%
令和元年	648	1,205	2,154	717	706	65	153	147	197	12	1	6,005
	10.8%	20.1%	35.9%	11.9%	11.8%	1.1%	2.5%	2.4%	3.3%	0.2%	0.0%	100%



5 月別・曜日別、時刻別の救急出場件数及び搬送人員

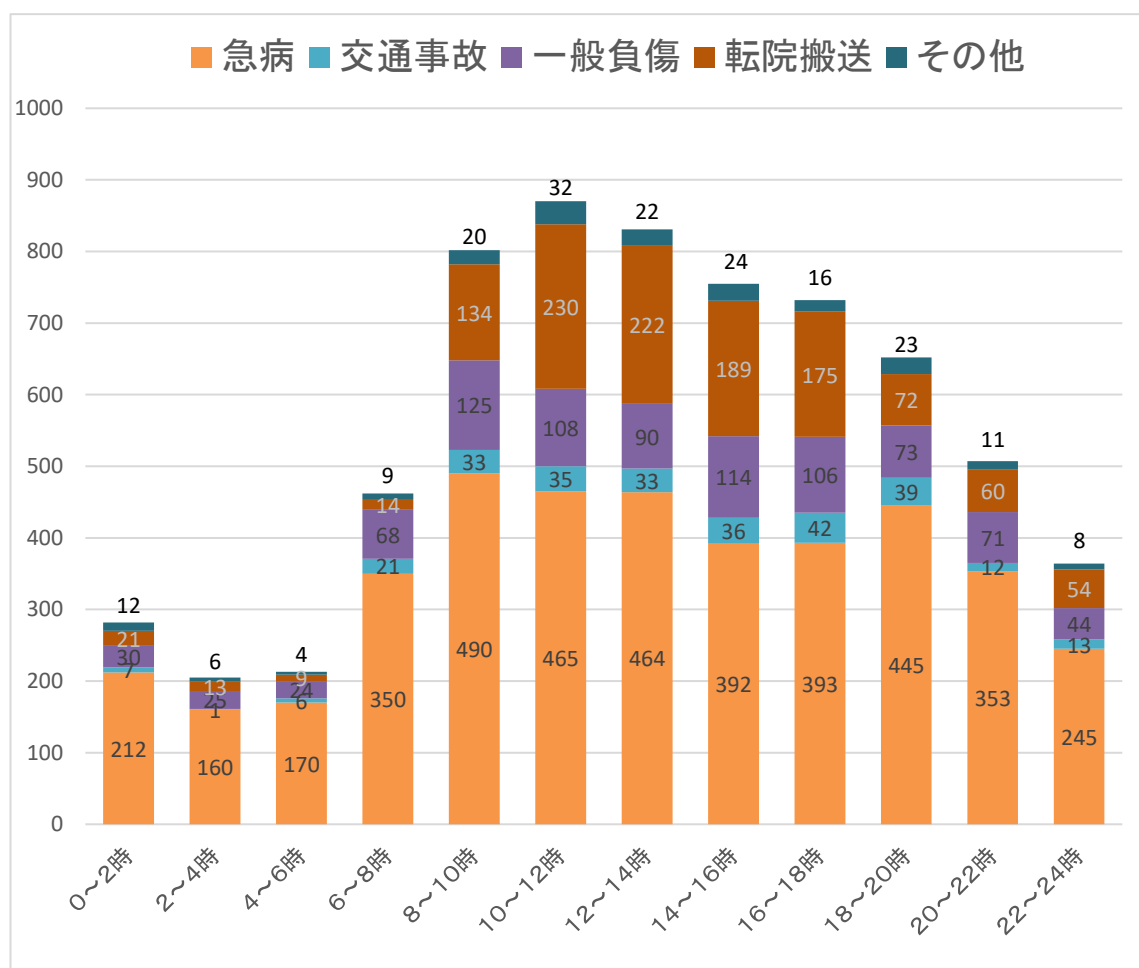
(1) 月別・曜日別の救急出場件数

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他	計
1月	2	1	1	24	1	0	89	0	3	496	98	0	1	716
2月	3	0	0	21	5	5	62	0	3	278	80	0	3	460
3月	0	0	0	20	3	3	78	1	5	346	115	0	1	572
4月	3	0	0	22	3	2	60	0	5	293	90	0	6	484
5月	3	0	0	21	3	3	64	2	9	309	110	0	2	526
6月	0	0	0	23	2	2	64	1	2	302	110	0	0	506
7月	1	0	1	23	3	1	75	0	6	407	98	0	1	616
8月	1	0	0	20	5	5	65	1	7	444	103	0	1	652
9月	4	1	0	28	10	6	69	1	3	295	101	0	2	520
10月	2	0	0	25	2	2	90	0	4	298	98	0	2	523
11月	2	0	0	24	3	3	84	1	1	313	96	0	0	527
12月	3	0	0	27	4	2	78	1	5	358	94	0	1	573
計	24	2	2	278	44	34	878	8	53	4,139	1,193	0	20	6,675
月 曜	2	0	0	47	7	2	123	0	10	635	209	0	1	1,036
火 曜	4	1	0	31	5	3	132	0	4	625	190	0	2	997
水 曜	4	0	0	43	6	2	106	3	8	590	189	0	3	954
木 曜	1	0	0	48	9	3	120	1	9	536	177	0	1	905
金 曜	6	0	1	46	8	5	120	2	5	561	171	0	1	926
土 曜	2	0	1	31	7	8	142	2	5	560	145	0	7	910
日 曜	5	1	0	32	2	11	135	0	12	632	112	0	5	947
計	24	2	2	278	44	34	878	8	53	4,139	1,193	0	20	6,675



(2) 時間帯別の事故種別救急出場件数

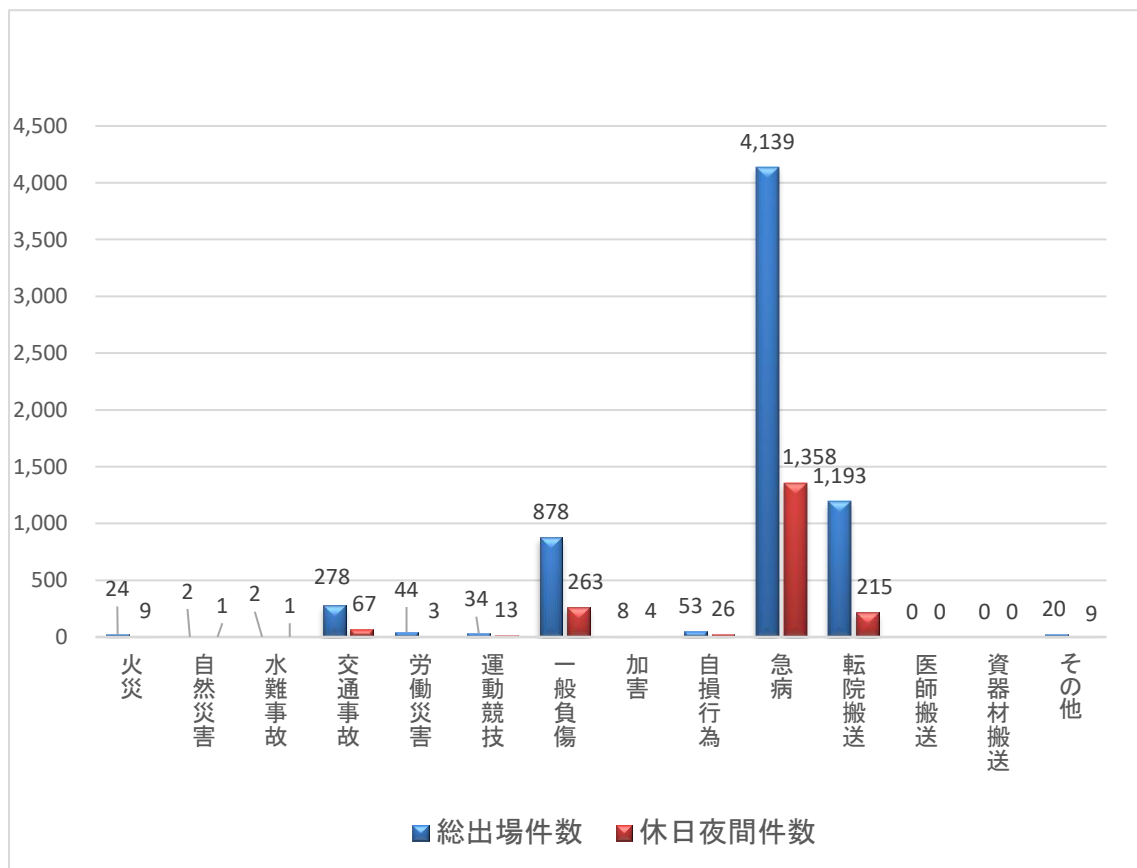
	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他	計
0～2時	212	7	30	21	12	282
2～4時	160	1	25	13	6	205
4～6時	170	6	24	9	4	213
6～8時	350	21	68	14	9	462
8～10時	490	33	125	134	20	802
10～12時	465	35	108	230	32	870
12～14時	464	33	90	222	22	831
14～16時	392	36	114	189	24	755
16～18時	393	42	106	175	16	732
18～20時	445	39	73	72	23	652
20～22時	353	12	71	60	11	507
22～24時	245	13	44	54	8	364
計	4,139	278	878	1,193	187	6,675



(3) 休日夜間活動状況

		出 場 件 数			搬 送 人 員		
		総 件 数	休日夜間件数	構成比	総 人 員	休日夜間件数	構成比
計		6,675	1,969	29.50%	5,491	1,477	26.90%
火	災	24	9	0.13%	4	2	0.04%
自	然 災 害	2	1	0.01%	1	0	0.00%
水	難 事 故	2	1	0.01%	0	0	0.00%
交	通 事 故	278	67	1.00%	241	64	1.17%
労	働 災 害	44	3	0.04%	38	3	0.05%
運	動 競 技	34	13	0.19%	31	12	0.22%
一	般 負 傷	878	263	3.94%	737	202	3.68%
加	害	8	4	0.06%	6	3	0.05%
自	損 行 為	53	26	0.39%	35	16	0.29%
急	病	4,139	1,358	20.34%	3,207	960	17.48%
そ の 他	転院搬送	1,193	215	3.22%	1,187	214	3.90%
	医師搬送	0	0	0.00%	0	0	0.00%
	資器材搬送	0	0	0.00%	0	0	0.00%
	そ の 他	20	9	0.13%	4	1	0.02%

休日夜間とは、土曜、日曜、祝日の全時間帯及び平日の午後10時から翌午前5時までの時間帯をいう。



6 救急活動の内容

(1) 救急隊員の行った応急処置(医療機関等へ搬送するまでの処置)

	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	計
対 象 人 員	3,205	241	736	1,301	5,483
止 血	13	9	50	5	77
固 定	37	150	181	48	416
人 工 呼 吸	45	0	4	3	52
胸 骨 圧 迫	6	0	0	0	6
心 肺 蘇 生	92	3	15	6	116
酸 素 吸 入	728	35	47	314	1,124
気 道 確 保	153	3	20	11	187
経鼻エアウェイ	0	0	0	0	0
喉頭鏡	33	0	7	2	42
☆ラリングアルマスク等	7	0	3	1	11
☆気管挿管	33	0	9	3	45
保 温	41	5	20	15	81
被 覆	19	62	196	22	299
在 宅 療 法	263	3	31	80	377
☆ 除 細 動	12	0	0	0	12
☆ 薬 剤 投 与	37	1	12	3	53
☆心肺停止前の静脈路確保	8	2	0	0	10
☆心肺停止後の静脈路確保	38	1	12	3	54
☆ 血 糖 測 定	54	1	1	0	56
☆ ブ ド ウ 糖 投 与	9	1	0	0	10
☆ エ ピ ペ ン 投 与	1	0	0	0	1
血 圧 測 定	3,016	229	707	1,242	5,194
聴 診 器	1,565	128	220	295	2,208
血中酸素飽和度測定	3,129	234	720	1,276	5,359
心 電 図	2,518	113	381	757	3,769
そ の 他 の 応 急 処 置	3,106	224	711	1,254	5,295
計	14,890	1,204	3,328	5,334	24,756

(注) ☆は、救急救命処置

【全救急救命士】(44名)

令和6年2月現在

○薬剤投与救命士(42名)

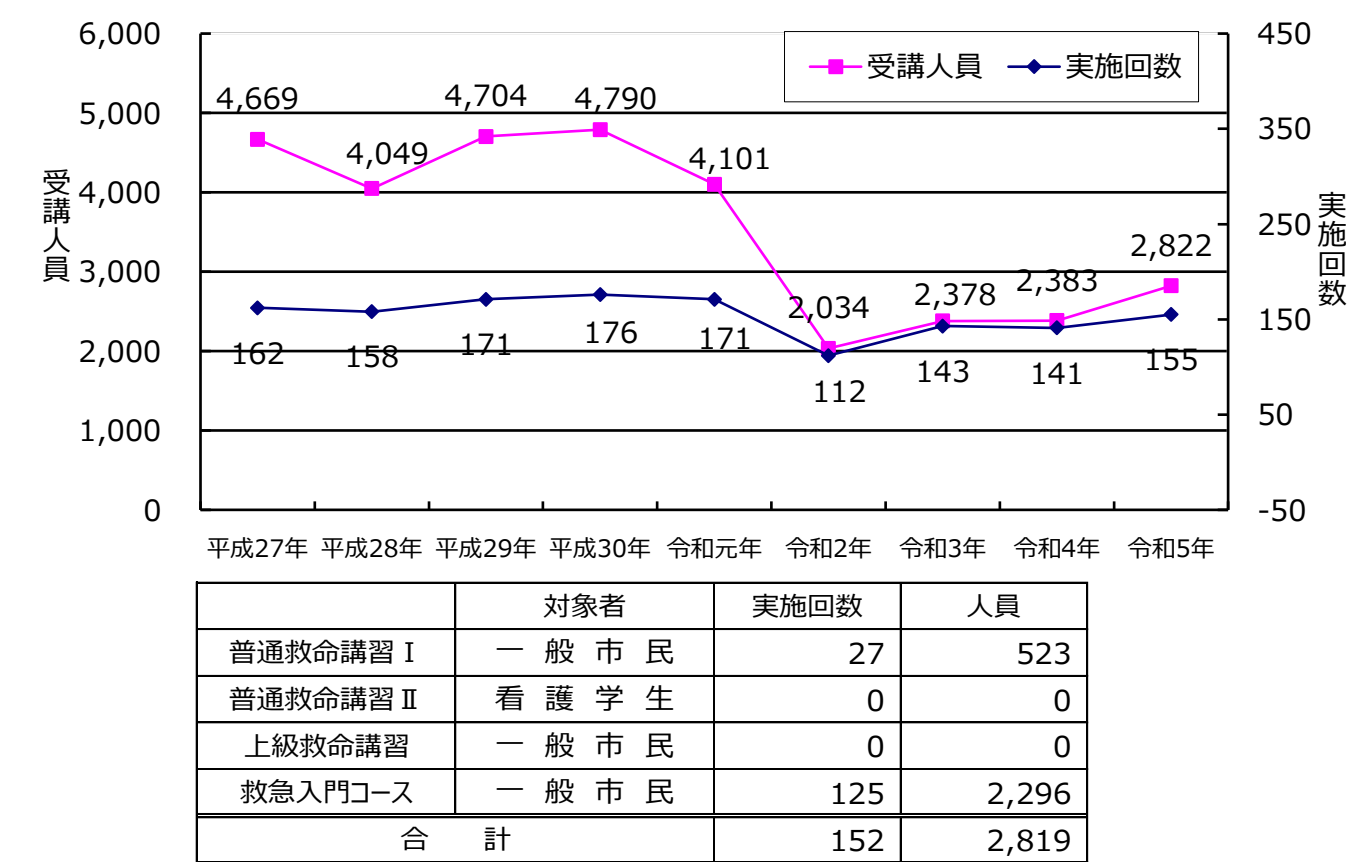
○気管挿管救命士(28名)

○血糖測定・ブドウ糖投与、心肺機能停止前静脈路確保(34名)

○指導救命士(6名)

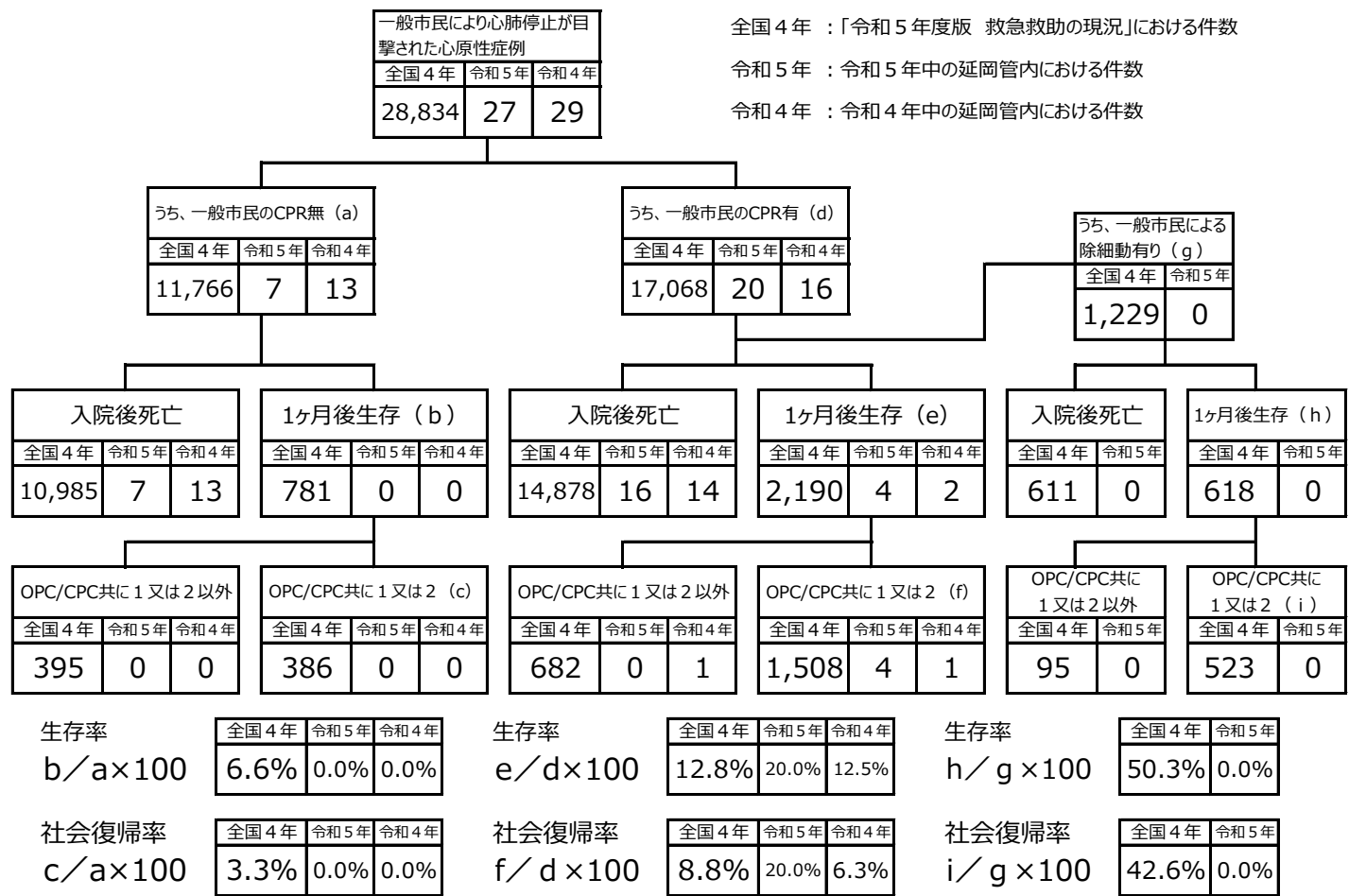
※認定資格については、個人で重複します。

7 応急手当の普及啓発
(1) 応急手当講習の実施状況



(2) 救急蘇生統計

令和5年中の搬送人員における心肺停止患者の総数は104名で、6名が社会復帰をされました。そのうち、一般市民により心肺停止の目撃があった症例の中で、適切な胸骨圧迫により社会復帰をされた症例が4件となりました。下記の表は、心肺停止が目撃された心原性症例の社会復帰率となっています。（心原性：心臓が原因による心肺停止）



8 医療機関等への搬送状況

(1) 医療機関別搬送人員

		救急告示医療機関	その他の医療機関	合 計
国 立		25	0	25
公 立		2,454	0	2,454
公 的		25	0	25
私 的	病 院	1,248	541	1,789
	診療所	63	1,131	1,194
その他の場所		0	4	4
計		3,815	1,676	5,491

(注) 救急告示医療機関

- (1) 国 立 : 宮崎大学医学部附属病院・国立宮崎病院・国立宮崎東病院・大分大学医学部附属病院など
- (2) 公 立 : 県立宮崎病院・県立延岡病院・熊本赤十字病院など
- (3) 公 的 : 日向病院(門川町)など
- (4) 私的病院 : 黒木病院・延岡共立病院・延岡市医師会病院・平田東九州病院
千代田病院(日向市)・和田病院(日向市)
宮崎市郡医師会病院(宮崎市)・社会保険宮崎江南病院(宮崎市)など
- (5) 私的診療所: おがわクリニック あたご整形外科

(2) 診療科別搬送人員

	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
内 科	1,913	1,736	1,518	1,555	1,772
循 環 器 内 科	62	71	59	83	85
外 科	554	494	413	408	431
整 形 外 科	696	678	614	571	566
脳 外 科	219	186	239	289	286
神 経 内 科	7	2	4	6	6
心 臓 外 科	3	2	2	9	8
小 児 科	138	86	92	69	111
産 婦 人 科	105	121	134	138	133
泌 尿 器 科	85	103	77	80	78
耳 鼻 科	15	12	17	11	16
精 神 科	40	42	37	45	45
皮 膚 科	9	3	10	2	4
救急科・麻酔科	1,631	2,064	2,016	1,592	1,831
眼 科	3	4	6	2	6
そ の 他	8	18	12	9	7
そ の 他 の 場 所	3	10	1	6	3
計	5,491	5,632	5,251	4,875	5,388

(3) 病院別搬送人員

※ 管轄内搬送人員 15 件以上の医療機関名等を掲載

あたご整形外科	87
大貫診療所	16
大崎整形外科	34
岡村病院	108
おがわクリニック	56
甲斐整形外科	37
延岡共立病院	523
黒木病院	191
県立延岡病院	2,409
県立延岡病院ドクターカー	31
桜ヶ丘ファミリークリニック	58
杉本病院	110
早田病院	116
谷村病院	113
長沼医院	23
延岡市医師会病院	113
延岡市夜間急病センター	330
延岡整形外科医院	67
延岡リハビリテーション病院	28
野村クリニック	31
平田東九州病院	383
平野消化器科	20
みぞくち医院	35
みやた内科医院	19
宮本整形外科医院	25
トトロこどもクリニック	20

吉田病院	18
米田脳神経外科	80
高見整形外科クリニック	17
その他の医療機関（管内）	270
その他の場所（管内）	4
計（管轄内）	5,372

済生会日向病院	24
千代田病院	20
宮崎大学医学部附属病院	20
和田病院	11
田中病院	10
県立宮崎病院	8
高千穂町国民健康保健病院	5
協和病院	4
宮崎大学ドクターヘリ	4
大分大学医学部附属病院	1
宮崎医療センター	1
宮崎江南病院	1
宮崎市郡医師会病院	1
その他の医療機関（管外）	9
計（管轄外）	119

総 計	5,491
------------	--------------

(4) 不搬送の原因別出場状況

原 因	令和5年	令和4年	増 減	構成比
辞退（到着前）	14	18	▲ 4	1.2%
辞退（到着後）	915	754	161	76.3%
拒 否	54	50	4	4.5%
明らかな死亡	115	128	▲ 13	9.6%
他車（隊）搬送	7	13	▲ 6	0.6%
傷 病 者 なし	39	45	▲ 6	3.3%
誤報・いたずら	10	9	1	0.8%
そ の 他	45	70	▲ 25	3.8%
合 計	1,199	1,087	112	100%

※不搬送状況は、「辞退(到着後)」が76%、次いで「明らかな死亡」が約10%です。

(5) 病院問合せ平均回数

	回 数
令和5年	1.63回
令和4年	1.57回
令和3年	1.45回
令和2年	1.48回
令和元年	1.40回
平成30年	1.30回
平成29年	1.27回
平成28年	1.28回
平成27年	1.25回

※全搬送件数の平均値を算出したもの。

(6) 救急支援（P A連携）出場状況

	C P A	高層階	繁華街	加 害	防災ヘリ	ドクヘリ	高速道	交通事故	その他	計
1月	48	19	11	0	1	1	2	2	13	97
2月	30	8	5	0	0	0	0	3	1	47
3月	36	9	12	0	0	0	2	1	10	70
4月	22	12	6	0	0	1	5	3	17	66
5月	25	11	6	1	0	2	0	8	7	60
6月	36	10	11	0	0	0	4	3	5	69
7月	45	14	11	0	0	0	5	6	7	88
8月	27	18	9	0	0	0	6	5	11	76
9月	26	7	7	2	0	0	0	4	10	56
10月	34	12	8	0	0	1	0	1	14	70
11月	36	8	7	0	0	0	2	5	10	68
12月	53	18	14	1	0	1	4	1	7	99
計	418	146	107	4	1	6	30	42	112	866

※ その他の内訳は、救急隊のみでは活動困難な場合等となります。

(7) ドクターヘリ活動状況

令和5年ドクターヘリ消防別(管轄内)要請件数

機関名/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
宮崎市消防局	0	0	1	1	3	4	3	2	1	3	3	1	22
都城市消防局	2	2	3	1	4	4	4	2	2	4	8	3	39
延岡市消防本部	3	3	3	2	9	1	4	0	3	4	6	4	42
日南市消防本部	2	2	2	3	5	3	6	1	4	4	5	4	41
日向市消防本部	4	5	4	4	4	3	2	4	3	4	3	4	44
串間市消防本部	1	2	3	0	3	2	5	0	1	2	1	2	22
西都市消防本部	3	4	2	0	0	2	2	4	1	2	1	2	23
東児湯消防本部	4	5	6	5	1	8	5	6	2	5	6	8	61
西諸広域消防本部	4	1	4	7	7	5	9	9	11	6	5	2	70
西米良村	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
諸塚村	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
椎葉村	0	0	1	1	1	0	0	1	1	2	0	1	8
椎葉村(上球磨消防署)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
美郷町	3	2	5	2	3	0	1	4	0	4	6	2	32
西臼杵消防本部	10	6	2	8	3	5	7	5	5	8	2	6	67
宮崎大学医学部附属病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎県DMAT調整本部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大隅曽於地区消防本部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	36	32	36	36	43	37	48	38	35	48	46	41	476

延岡市消防本部管轄における運航実績(病院間搬送含む)

	要請件数	現場出動	転院搬送	飛行前 キャンセル	飛行後 キャンセル	その他
1月	3	0	3	0	0	0
2月	3	0	3	0	0	0
3月	3	0	3	0	0	0
4月	2	1	1	0	0	0
5月	9	1	7	1	0	0
6月	1	0	1	0	0	0
7月	4	0	4	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	3	0	3	0	0	0
10月	4	1	3	0	0	0
11月	6	0	6	0	0	0
12月	4	0	4	0	0	0
計	42	3	38	1	0	0

(8) ドクターカー活動状況

平成30年4月18日から、宮崎県立延岡病院と連携してドクターカー(ピックアップ方式)の運用をしておりましたが、令和3年4月19日より宮崎県立延岡病院に救急車型のドクターカーが配備され運用が始まりました。これにより、ドクターカーの現場到着時間短縮が図られるとともに、救急現場で重症傷病者に対する早期の医療介入が可能となりました。また、傷病者を搬送することも可能なため、救急隊は次の出動に早期に備えることができ、大きなメリットとなっています。

令和5年のドクターカー要請件数は122件、そのうち114件に出動しております。

県立延岡病院ドクターカー出場状況

延岡市消防本部要請 出動状況(令和5年1月1日～12月31日)

	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				キ ャ ン セ ル 出 動 前	合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他		
1月	0	0	0	1	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	13
2月	0	0	0	0	2	0	1	0	0	7	0	0	0	0	1	11
3月	0	0	0	1	1	0	1	0	0	16	0	0	0	0	0	19
4月	0	0	0	1	2	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	9
5月	0	0	0	2	1	0	2	0	1	3	0	0	0	0	1	10
6月	0	0	0	5	0	0	1	0	0	3	2	0	0	0	2	13
7月	0	0	0	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0	1	6
8月	0	0	0	3	0	0	1	0	0	7	0	0	0	0	1	12
9月	0	0	0	2	1	0	0	0	0	7	0	0	0	0	1	11
10月	0	0	0	2	1	0	1	0	0	3	0	0	0	0	1	8
11月	0	0	0	2	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	7
12月	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	0	0	0	20	11	0	11	0	1	69	2	0	0	0	8	122

第3章 令和5年の救助活動概要

令和5年の救助件数は、昨年と比較すると減少しており、出場件数71件(6件減)、救助活動件数49件(3件減)、救助人員54人(3人減)であった。

第1表 救助出場・活動件数及び救助人員の推移

	救助出場件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率(%)	件数	対前年増減率(%)	人員	対前年増減率(%)
令和元年	86	79.2%	45	55.2%	48	71.4%
令和2年	74	-14.0%	47	4.4%	50	4.2%
令和3年	44	-40.5%	34	-27.7%	36	-28.0%
令和4年	77	75.0%	52	52.9%	57	58.3%
令和5年	71	-7.8%	49	-5.8%	54	-5.3%

第4章 令和5年の救助活動状況

1 事故種別ごとの救助出場件数及び救助人員

事故種別の救助出場件数をみると、建物事故の発生割合が最も多い。次いで、その他の事故、交通事故が多く、3種別で全体の94.4%を占めている。

救助人員については、建物事故が21人(38.9%)と占める割合が多く、次いで、その他の事故が16人(29.6%)、交通事故が15人(27.8%)の順となっている。

第2表 事故種別ごとの救助活動状況

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
救助出動件数	0	14	1	3	0	30	0	0	23	71
救助活動 有り	0	10	1	1	0	22	0	0	15	49
救助活動 無し※	0	4	0	2	0	8	0	0	8	22
救助人員	0	15	1	1	0	21	0	0	16	54

※「救助活動 無し」には、途中帰署を含む。

○事故種別は、次により区分している。

「火災」とは、火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。

「交通事故」とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

「水難事故」とは、水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。

「自然災害」とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

「機械事故」とは、エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。

「建物事故」とは、建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

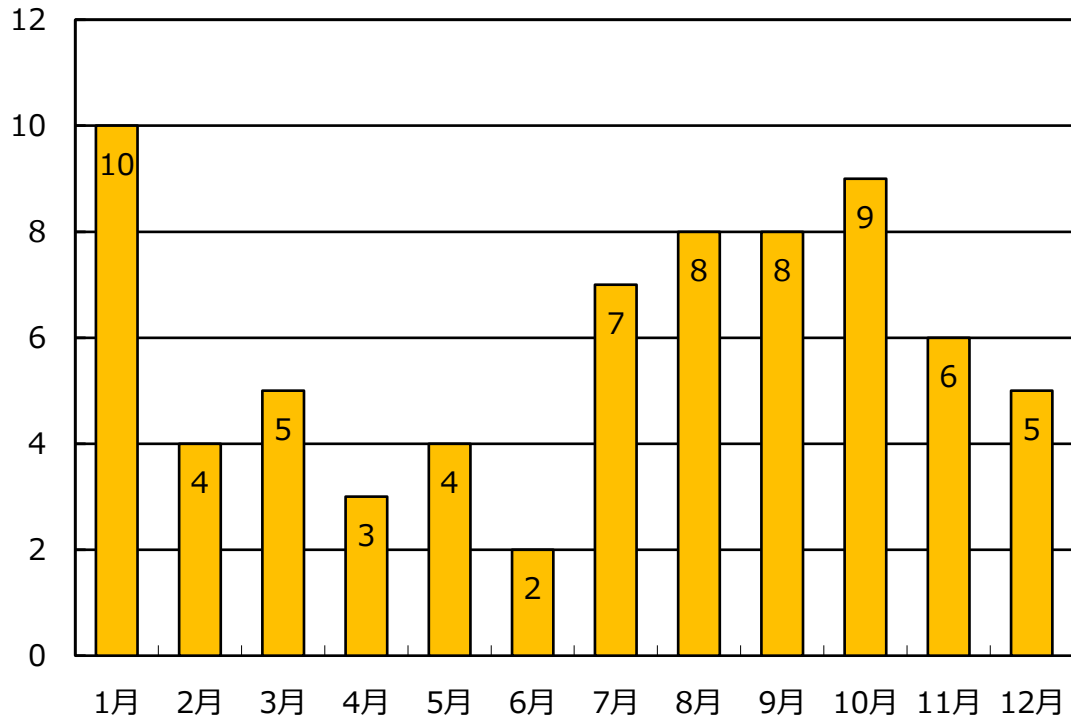
「ガス及び酸欠事故」とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。

「破裂事故」とは、火災事故以外のボイラー、ポンプ等の物理的破裂による事故をいう。

「その他の事故」とは、上記に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。

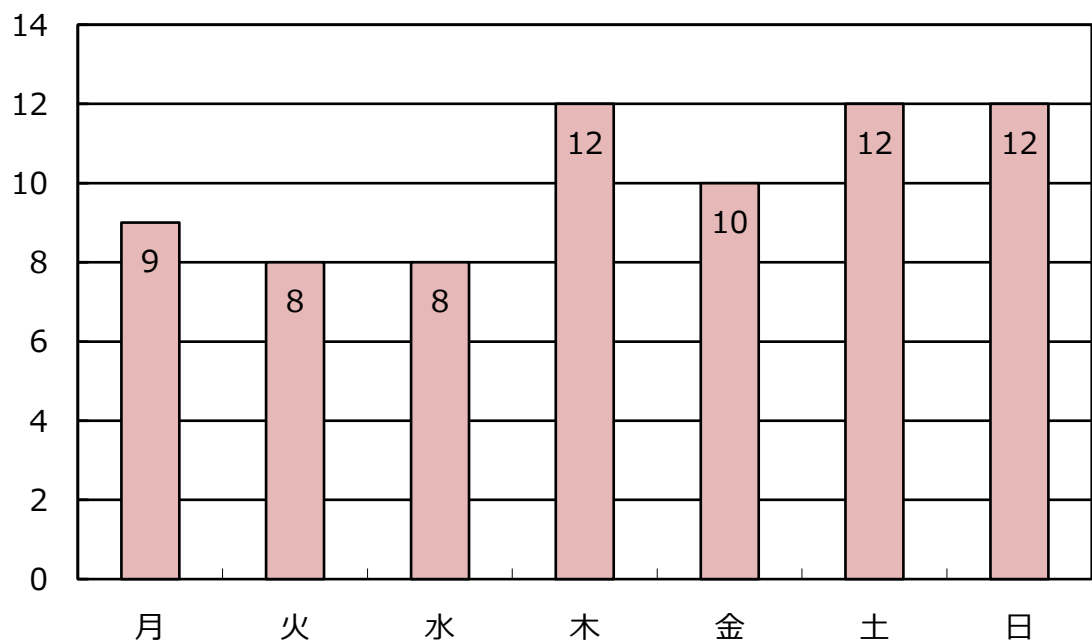
2 月別の救助出場件数

救助出場を月別に見ると、1月、10月の占める割合が多く、全体の26.8%を占めている。



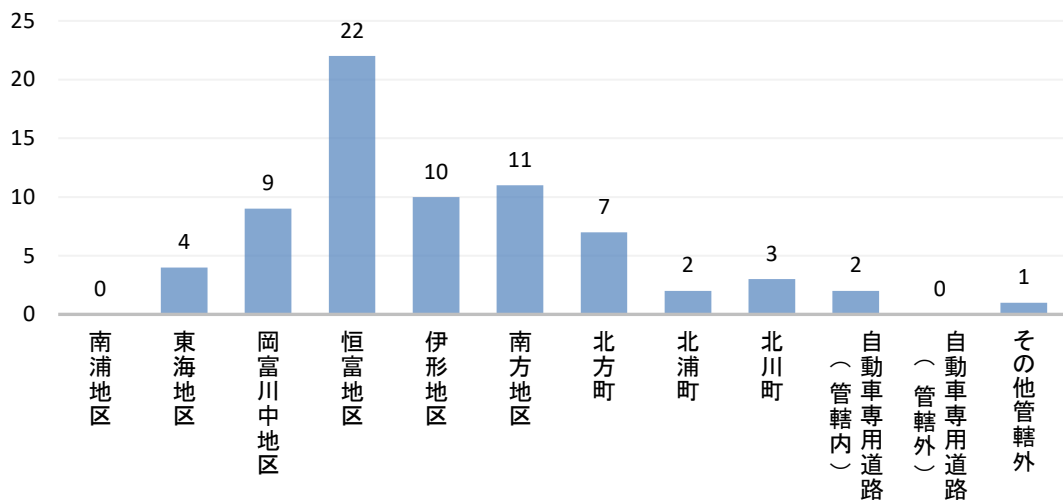
3 曜日別の救助出場件数

木曜日、土曜日、日曜日が最多の12件で、次いで金曜日が10件、最少が火曜日と水曜日の8件であった。



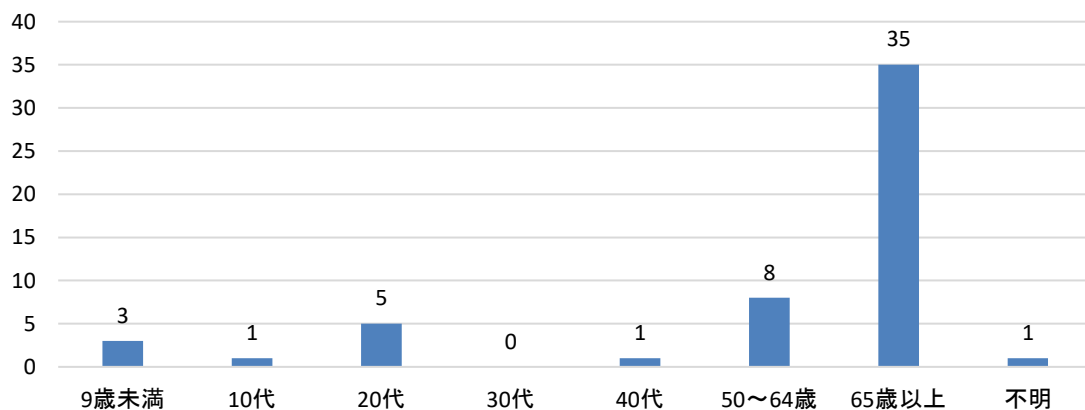
4 地区別の事故種別救助出場件数

		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	酸ガス欠事故及び	破裂事故	その他	計
南浦地区											0
東海地区			1	1			2				4
岡富・川中地区			2		1		4			2	9
恒富地区			5		1		12			4	22
伊形地区							6			4	10
南方地区			2		1		6			2	11
北方町			1							6	7
北浦町										2	2
北川町										3	3
自動車専用道路	管轄内		2								2
	管轄外										0
その他管轄外			1								1
合 計		0	14	1	3	0	30	0	0	23	71



5 年齢別の要救助者数

要救助者を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が35人で、全救助者数54人のうち、64.8%を占めている。少子高齢化の影響から高齢者の割合が大半を占めている。





令和5年度宮崎県総合防災訓練(高鍋町)



令和5年延岡市消防出初式



宮崎県防災救急航空隊と消防隊の合同訓練